

藤波こども園

園長だより

No. 5 1

令和元年9月25日

文責 竹原 篤



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

にぎやかだった蟬の声からコオロギや鈴虫の声に変わり、連休にはすすきを照らす満月の光を見ることができ、秋晴れのさわやかな季節を迎えました。皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

中学生のチャレンジ体験で、一日の活動が終わると、今日何か感じたことや困ったことなど、一日を振り返り話し合う時間をもちました。「僕の行っていた園は白い紙を先生が配って折り紙を貼ったりしてみんなで同じようなものを作るようなことをしていた」「僕は小さい時からずっとこんなんやった」「私は初めの園はそんな園やったけど、この園はずっと今みたいな感じ。私はこの園がいい。束縛されていない感じがするもん」それを聞いて「僕は保育のことはわからないけれどやっぱりこの時期には遊ぶことが大事やと思う。本格的な勉強は学校行ってからでいいと思う」と話していました。「やっぱりこの時期は遊ぶことが大事やと思う」と中学生が自分のことを振り返り話してくれたことに心うたれました。

担任からこの話を聞き、中学生の会話の中に、子どもたちの姿からどうしてあげればよいか真剣に考えたり、次の活動に生かそうとしたりする内容があると感じました。中学生なりに考え悩み答えらしきものを求め、日々成長しているんだと思いました。毎日、忙しくしている私たち大人はつい現象面だけを見て大人の価値観や都合で答えを出しているような気がします。子どもたちが大人に指示されて活動することではなく、主体性を発揮し遊びの中で存分気持ちを揺り動かされ活動することが何より大事なことで、私たちも改めて感じ、遊びを通して成長する子どもたちを温かく見守っていききたいと思います。

皆さんは中学生の会話をどのように感じられましたでしょうか。



安曇川駅前交番の警察官の方に来ていただきチャイルドシート着用の啓発活動をしていただきました。幼い子どもの命を守るのは私たち大人の責任です。



赤い羽根共同募金

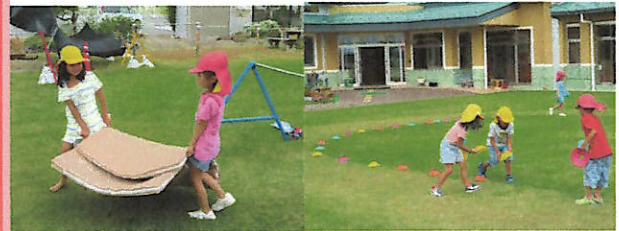
今年度も皆様方各ご家庭のご協力をお願いしたいと思います。ご家庭で思いやりの心を育てられるよう子どもたちと話し合っていたいただけたらと思います。赤い羽根共同募金は集められたうち7割が市で活用されます。ご協力よろしくをお願いいたします。



〆切り 11月1日(金)

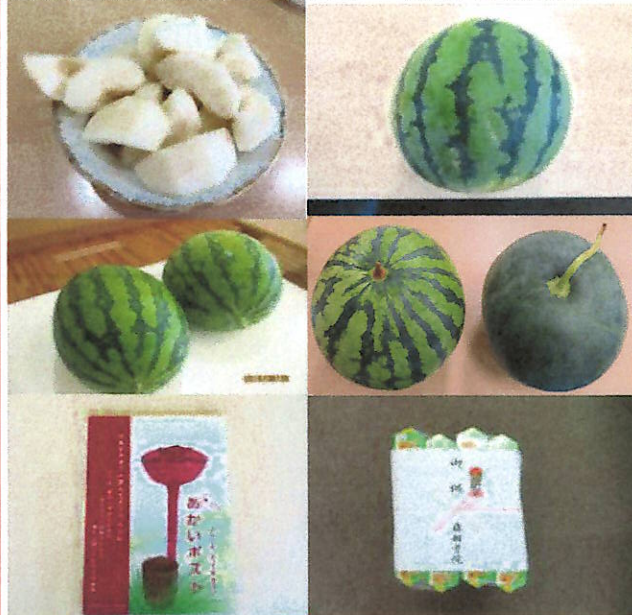


【保育・教育活動に運動を楽しむ姿】



ありがとうございます。 【いただきました】

- | | |
|-------------|-------------|
| ①なし | 元議員 馬場さんより |
| ②すいか | 下小川 保護者さんより |
| ③すいか | 上小川 湊田さんより |
| ④すいか | 青柳 保護者さんより |
| ⑤絵本 | なつうめきみこ先生より |
| ⑥絵本 | 今津 業者さんより |
| ⑦儒式おさがりのお菓子 | 藤樹書院より |



新しい用務員の藤岡敬子さんが来ていただきました。園庭の草取りや床磨き・窓ふきなど園舎をきれいにしていただいています。北坂かよ子さんには本園で3年5ヶ月に渡りお世話になり、子どもたちが



楽しく活動するブランコや遊具のまわりの草取りなどいつもきれいにしていただきました。